

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V401	地域看護活動展開演習 (Community Health Nursing Practice V)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	4	後	集中	金崎理子・後藤奈穂・箕河原靖子 内線：5092 E-mail：kanezakiyako@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 地域看護学実習の体験をもとに、地域看護活動の課題について検討し、看護の機能を発展させるために具体的な取り組みを考え、地域看護活動の評価視点を述べる			○				
2. 実践活動に役立つ研究的取り組みの必要性を説明する			○				

【授業の内容】

10月1日(火)	コースオリエンテーション/事例検討に関するオリエンテーション グループワーク：個別事例援助（ニーズの明確化・援助計画の立案）
10月2日(水)	グループ間討議：検討事例の共有・援助計画の検討 グループワーク：個別事例援助(事例のまとめ)
10月4日(金)	グループワーク：個別事例援助(事例集の作成) 保健事業と保健師の役割に関するオリエンテーション グループワーク：行政施策における事業の位置づけの明確化
10月7日(月)	グループ間討議：保健事業の共有と進捗状況の確認・助言 グループワーク：保健事業の評価と次年度計画の立案
10月9日(水)	グループ間討議：保健事業の次年度計画 グループワーク：次年度計画の修正
10月11日(金)	グループワーク：看護専門職として今後必要なことについての考察

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	実習記録・資料の整理	・実習での体験をもとに、今後の具体的な取り組みを考える。 ・学生間で意見交換する機会を頻繁に設ける。
B：意見の表現・交換	○	グループワーク・グループ間討議での発問	
C：応用志向	○	グループ・グループ間での検討	
D：知識の活用・創造	○	事例集の作成	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	各自が実習記録・資料を整理し、教科書・参考書等と照らし合わせて学習する(6h)
事後学修	完成した事例集などを活用し復習する(3h)

【教科書】

これまでの講義・実習で用いたテキスト・資料等を活用する

【参考書】

これまでの講義・実習で用いた参考資料等を活用する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2
グループワークの参加態度・貢献度	20	○	○
課題レポート	80	○	○

【注意事項】

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師保健所、市町村、事業所、病院	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	保健師活動の実務経験を活かし、地域看護活動における課題や取り組みについて、評価視点について、具体的に助言し学生の学びを支援する。	
授業形態	直接授業	